

<h1>第74号</h1>	<h1>Super Highway</h1>	
<p>発行日 2023.11.14</p>	<p>J R 東労組バス関東本部</p>	<p>J R 東労組ホームページ</p>

2023 年末手当満額回答！ 組織強化・拡大！！

本日 14 時より東京営業支店会議室において、申 2 号「2023 年度年末手当等に関する申し入れ」の団体交渉を行ってきました。以下、議論概略①です。

組合) 業績の動向が良いのは、社員・組合員の結果である。施策に協力しながら苦しい生活を耐え抜いてきた。3 年 5 ヶ月ぶりの黒字を達成した我々の努力の結果を加味していただきたい。

会社) 第 2 四半期で 2,000 万の黒字は、皆さんの奮闘の結果であり、感謝申し上げたい。繁忙期輸送は、計画を上回る収入であり、上期の成果を踏まえて還元する使命があると認識している。

ただ、前回は申し上げたが、自然災害例えば台風が来ていたら 2,000 万の黒字は飛んでしまう。その程度の黒字だった。

9 月で黒字とは計画を上回っているが、10 月はまた赤字転落の見込みであり、まだ黒字が安定しているわけではない。今後も赤と黒が繰り返されるギリギリの状況であり、黒字ではあるが決して見通しは甘くない。

組合) 採用と人員確保についてはどうか？

会社) 今年度 60 人採用を目指しているが、現在 37 人、ほぼ計画通り進んでいる。

組合) 運行計画も計画通りなのか？

会社) 輸送力を増強することが黒字に繋がるとは思わない。黒字になるためにコロナ前の 100%に戻す必要がないのはハッキリした。コロナ中の採用を控えていた部分を補填し、次に輸送体系に合わせて人員を作っていくのが今年度の主眼。

組合) 輸送力もコロナ前に戻らないという計画ではあるが、年末手当についてはそういう認識ではないと言っていたきたい。

会社) コロナ前の賞与支給水準に戻さないという考えを持っているかということ、そこはリンクしていない。コロナ前の収入規模と今の収入規模は違うし、収入が賞与と連動しているわけではなく、収益と連動している。収入・要員がコロナ前に戻る、戻らないではなく、賞与は収益と連動していくのが基本という認識である。

JRバス関東で働く仲間を一つに！